

# 令和8年度「健やかな体」育成プログラム

学校番号：26023

学校名：澄川南小学校

令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査 結果		分析
<b>体力・運動能力</b> <b>&lt;男子&gt;</b>	○前回の記録と同程度もしくは上回った種目(平均値) 握力(+1.48 kg)・上体起こし(+3.6回)・長座体前屈(+3.51 cm)・ 反復横とび(+0.64点)・20m シャトルラン(+11.83回)・50m 走 (-0.52秒)・立ち幅とび(+16.57 cm)・ソフトボール投げ(+3.55m)	○全種目で前回の記録を下回ることなく、全体的な体力向上が見られた。特に、20m シャトルラン(+11.83回)や立ち幅とび(+16.57cm)、50m走(-0.52秒)の伸びが大きく、持久力や瞬発力、走力の向上がうかがえる。また、握力や上体起こし、長座体前屈の結果から、筋力や柔軟性の向上も見られた。今後も継続的な運動習慣を大切にしていきたい。
<b>体力・運動能力</b> <b>&lt;女子&gt;</b>	○前回の記録と同程度もしくは上回った種目 握力(+2.08 kg)・上体起こし(+0.85回)・長座体前屈 (+0.59 cm)・反復横とび(+2.43点)・20m シャトルラン (+9.33回)・50m 走(-0.38秒)・立ち幅とび(+8.51 cm)・ ソフトボール投げ(+1.1m)	○女子についても、全種目で前回の記録を下回ることなく、全体的な体力向上が見られた。特に、反復横とび(+2.43点)や20m シャトルラン(+9.33回)の伸びが大きく、敏捷性や持久力の向上がうかがえる。また、握力(+2.08kg)は男子以上の伸びを示しており、筋力面での成長も顕著であった。さらに、ソフトボール投げも向上しており、運動能力全般がバランスよく高まっていることが分かる。
<b>運動・スポー ツへの意識、 運動習慣</b>	○体育の授業が楽しくない・あまり楽しくないと回答した児童のうち、今後どのようなことがあれば、今より体育の授業が楽しくなるか。 男子 1 運動のコツやポイントを分かりやすく教えてもらえたら 本校 50% 札幌市 23% 全国 20% 8 自分に合ったペースで行うことができたなら 本校 50% 札幌市 41% 全国 40% 女子 3 自分に合った場やルールが用意されていたら 本校 66.7% 札幌市 34% 全国 32% 4 タブレットなどの ICT を活用出来たら 本校 33.3% 札幌市 7% 全国 8%	○「運動が好き・やや好き」と回答した児童の割合は、男子は90%で維持され、女子は80.5%から88.6%へ大きく向上した。また、「体育の授業が楽しい・やや楽しい」と回答した割合も、女子は84.6%から91.4%へ増加し、男子も高い水準を維持している。一方、体育の授業が楽しくない・あまり楽しくないと回答した児童の改善意見として、「自分に合った場やルール、ペースで行うことができた」「タブレットなどのICTを活用出来たら」といったものが多く挙げられた。このことから、従来の授業よりさらに、『ICTを活用』した『個別最適』な授業づくりに取り組んでいく。

<b>三つの取組</b>	<b>① 体育・保健体育等の授業の充実</b>	<b>② 授業以外で子どもの運動機会を創出する取組</b>	<b>③ 子どもが自ら健康の保持増進を図る取組</b>
--------------	-------------------------	-------------------------------	-----------------------------

<b>具体的な取組</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○タブレット端末を使って、活動を可視化したり、記録したりすることで、自分の課題を再認識し、集団としての関わりや個人の技能を高めて、できるようになることの喜びにつなげていく。また、児童同士が動きを見合い、よい動きや工夫を伝え合う活動を取り入れることで、主体的に学び合う姿勢を育てる。</li> <li>○子どもがやってみたくいと思える場をつくり出し、新体力テストを事前に試す場を積極的に設ける。</li> <li>○リズム縄跳びや縄跳び記録カードの活用など、学年の発達段階に合わせた縄跳び運動を継続的に行うことで体力を高めていく。</li> <li>○オリンピック・パラリンピックの理念に触れながら、スポーツの意義や価値に触れ、オリンピックの話の聞いたり、体験的な学習をしたりして、ふるさと札幌における学びを充実させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○中休みは全員外で遊ぶことを基本(心身の不調がある場合、取り組む課題がある場合はその限りではない)とし、担任が率先して運動の機会をつくる。多様な遊びの場を創り出すことで、体を動かすことの楽しさをどの子も味わうことができるようにする。</li> <li>○雨天時でも運動できるよう、グラウンド以外の場所も活用し、縄跳びやダンスなどに取り組む。</li> <li>○一輪車やソフトスポンジボールなどを使用して、より多くの子どもが自然に運動に慣れ親しむことができるよう、運動環境を整えていく。</li> <li>○児童委員会が中心となって、体を動かす集会やレクリエーション活動を企画し、縦の繋がりも大切にしながら運動機会を創出する。</li> <li>○マット・跳び箱週間を設け、中休みや昼休みに自発的に練習できる環境を整備する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ジェンダー教育の場を設け、養護教諭と担任が一体となって個性を尊重する心を育てる。</li> <li>○心と体を育む学習として、養護教諭と担任が一体となって6年間を通して学びをつなぎ、自他を大切に、たくましく生きる力を育む。</li> <li>○教科と結び付けて、6年生の「薬物乱用防止教室」を実施する。</li> <li>○外部講師を招いて、札幌らしい「がん予防教育」の推進を図る。</li> <li>○栄養教諭とのTTによる「食に関する指導」を通して学年別の年間計画のもと、健康の大切さを指導していく。</li> <li>○給食時間を活用して食に関する情報を発信し、知識理解の定着を図る。</li> <li>○タブレット端末を活用する際には、決められた時間、場所で先生の指示があった時に使用する。また家に持ち帰った際には、家の人と使用する時間など、ルールを決めて取り組むようにする。</li> </ul>
---------------	---	--	---

<b>家庭・地域との連携・協働</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○全国体力・運動能力調査、学校独自の体力調査結果等</li> <li>○給食試食会の開催や、食に関する情報を配信</li> </ul>
---------------------	--